

令和 6 年度 第3回 大阪市立栄小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立栄小学校
校園長名 岸本 昌悟

日 時	令和7年3月10日（月） 18時～19時00分（1時間00分）					
場 所	大阪市立栄小学校 1階 生涯学習室					
出席者	委員など	浅田正仁(会長) 瀬川晴美(委員)	中田正孝(委員) 福田奈奈(委員)	北口武司(委員) 萬代加代子(委員)		
	校園	岸本昌悟(校長)	村松勇介(教頭)	加藤基寛(人権教育部長) 山本大斗(教務主任)		
	区役所	高橋貴志子(係長)				
議題	(1) 令和6年度 大阪市学力経年調査の結果について (2) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について (3) 令和6年度 運営に関する計画 最終評価について (子どもアンケート・保護者アンケートの結果を含む) (4) 次年度の学校協議会について					
協議要旨	協議の結果		意見の概要			
	(1)	大阪市学力経年調査における協議の結果は、次のとおりである。 ・3年国語・算数、5年算数・英語の平均正答率が、大阪市平均を上回っている。 ・社会・理科の平均正答率の結果が、国語・算数に比べると低くなっている。	○算数では、学校全体で基礎的・基本的な学力の向上に取り組んでいる「ザクザクタイム」等によって成果が現れている。一方で社会や理科に関する知識、および活用に関する問題に関しては正答率が低い。日常の生活に関わる事象を調べる活動などを、学校全体で展開していく必要がある。			
	(2)	女子の総合得点は大阪市平均・全国平均を上回った。男子の総合得点も、大阪市平均を上回っている。	○学校全体でなわとび週間やかけあし週間に取り組んだり、子どもと教員が休み時間に一緒に遊ぶ時間を設けたりしている成果が現れている。			
	(3)	運営に関する計画について、数値目標を掲げている項目に関して、目標を上回っている項目と下回っている項目に状況が分かれていた。	○学校の取組については、これまで継続してきたことは評価できる。SNSの取り扱いに関しては、保護者も子どもと同じように啓発のための授業を参観するなど、より一層の工夫が必要である。			
	(4)	関西・大阪万博については、子どもたちの安全・安心な学校生活という観点で捉えた結果、学校での参加は見送る方向で進める。標準服の多様化については、早期に進めていく。				
協議資料	<input type="checkbox"/> 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 <input type="checkbox"/> 令和6年度「運営に関する計画」中間評価 <input type="checkbox"/> 令和6年度 子どもアンケート中間集計 <input type="checkbox"/> 標準服指定店の案内用紙					
備考	傍聴者[0]名					